

「有権者をだますわけにいかない」??

維新の党を離党し、
国政政党「おおさか維
新の会」の旗揚げを表
明した橋下徹大阪市
長。節目節目で発言が
コロコロ変わっていま
す。

8月27日、松井一郎
大阪府知事とともに維
新の党を離党した橋下
氏は、「大阪の地方政
治にしっかりと軸足を移
す」と話してしまし
た。

ところが、わずか2
日後に国政新党の立ち
上げを宣言。そして10
月1日、正式な新党結
成表明となりました。
当初は「党を割るよう
な話ではない」とも述
べていたものの、新党
結成で維新は完全に分
裂しました。

5月の住民投票で
「大阪都」構想が否決
され、橋下氏は「政治
家は僕の人生からは終

氏橋変わるコロコロ分言い

了」と政界引退を明言
しました。にもかかわ
らず、松井氏は「橋下
代表はちょっとした間休
憩する」とし、橋下氏
も「引退後の」私人の
生活について、国民に
約束する話じゃない。
自由にやらせてもらい
ます」(1日)と政界復
帰に含みを持たせてい
ます。

「僕は知事になって
から今に至るまで、国
民に約束したことはウ
ソをつかずにやってき
た」と胸を張る橋下
氏。1日の会見でも
掲げると主張しまし
た。

橋下氏は、住民投票
の投票日が近づくと
「負けたらやめる」と
自身の信任投票にしよ
うとした上、「ラスト
チャンス」と叫び、賛
否を迷う市民の焦燥感
をあおり続けました。

「都」構想の危険性
を訴えてきた、藤井聡
京都大学大学院教授は
指摘します。「これが
最後なら」と考え、賛
成に投じた人が多数い
るのは間違いない。そ
れなのに、もう一度公
約に掲げるのは、その
人々を裏切ったことに
なる。まさに『ラスト
チャンス詐欺』だ」

「僕はいかに、と強調
してみせましたが、
「2万パーセントな
い」といっていた知事
選に出馬したのが、橋
下氏の政治家としての
出発。橋下氏の言動を
信用しろという方が無
理というものです。

「都」構想の危険性

(笹)